

はじめに

はじめてオリジナル・フラットヘッド・マスタートーン 5 弦バンジョーをこの手に持ったその日から、私の人生は狂ってしまった。私はまだ 14 歳で、ハリー・ウェスト宅のリビングの床にあぐらをかいて座っていた。

ハリー・ウェストと美しい妻のジェニーは、ノースキャロライナ州ラレイ・ダラム地区にある私の街に引っ越してきたばかりだった。彼らの家は、うちから車で 20 分ほどだったが、まだ運転できる年齢になっていなかったのので、父に連れて行ってもらった。自己紹介をし合うと、ハリーは、ちょっといいニュー・バンジョーとか、プリウォー・ギブソンのコンバージョンとか、父に買えそうな楽器をあれこれ見せてくれた。私がそれらのバンジョーを試すのを聴いて、そう思ったのだろうか。ハリーは、なんと、1930 年代のオリジナル 5 弦フラットヘッド・マスタートーン、RB-3 リース・パターンを持ち出してきた。

ディーラーとして、ハリーは間違いを犯したと言える。なぜなら、そのオリジナル・フラットヘッド RB-3 を両手に抱えて 15 秒後には、私は他のバンジョーには全く興味がわかなくなってしまったのだ。覚えているのはただひとつ、そのバンジョーから出る「あの音」だ。私がそれまで弾いたすべてのバンジョーと比べると、それはまるで大地のどこか深いところから出てくるかのような音だった。

言うまでもなく、その日は何も買わずに帰ったのだが、それから数年を経て、私はハリーとジェニーと親しくなった。彼らの家を訪ねると、ハリーは、私が「夢の部屋」と呼んでいた部屋で自由に楽器を触らせてくれた。そこは、素晴らしい楽器で一杯だった。プリウォーのマーティン D-45、1930 年代の D-28 ヘリンボーン、ギブソン F-5 ロアー・マンドリンなどがあつた。もちろん、私の一番の関心は、あのオリジナル・フラットヘッド 5 弦 RB-3 だった。当時、私はすべての楽器の弾き方を学ぼうとしていたので、ハリーは私の気持ちの赴くまま、どの楽器でも好きなだけ弾かせてくれた。ロアーをしばらく弾いて、それを置くと次はプリウォーのマーティンギターを弾いた。けれども、最後は決まってあのフラットヘッドバンジョーで、どの楽器よりも長く弾いたものだった。

幸いなことに、夏休みの間中、彼らと地元のショーと一緒に演奏することができた。彼らとステージに立つのはいつもたいへん楽しかった。

ある時、なぜ 1940-50 年代のヴィンテージ楽器を収集するようになったのか、ハリーに尋ねた。そのとき彼が話してくれたことは、たいへん興味深く、忘れられない。その話は、なぜ私たちがこれらの特定のバンジョーや他のヴィンテージ楽器を収集するのかというこ

とをうまく言い表していると思う。ハリーは、1940年始めには、すでに長い演奏経験があり、1930年代製のユーズドのマーティン D-28 ヘリンボーンをいくつか持っていた。彼がそれらのマーティンを質屋かどこかで見つけたときは、75ドルから100ドルで買えた。しばらく弾いた後、数ドルの利益を上乗せして売った。1944年になって、新しいマーティン D-28 を買うことにし、注文した。新しいマーティンが届いた。だが、その新しいギターはかつて所有していた古い1930年代モデルの D-28 のような音がしなかった。あれと同じ音ではなかった。それ以来、そういう古いギターを見つけたときはいつでも手放さず、あまり気に入らないものは売るということにした。そうすると、さらによく音がわかるようになり、ますますいい楽器、1930-40年代のギブソン・マスタートーン・バンジョーや1920年代の F スタイル・ギブソン・マンドリンなどを買うようになった。このようにして、アメリカの最初のヴィンテージ弦楽器ディーラーが誕生したのだ。

これは素晴らしい話だと思う。なぜなら、はじまりから「あの音」にまつわることだったからだ。

それは正直で、人の心をとらえて放さない
常に真実を語り、嘘をつくことがない
それは金には代えられない

その楽器が希少なものだとか、金額に換算してどれほどの価値があるとか、そういうことではないのだ。楽器にそれがなければ、誰の手になろうともあの音を奏でることはできない。

そして、それこそが、これらのバンジョーが75年を経て時の試練に耐えてこられた理由である。これらのバンジョーにはあの音がある。この世でそれを得る他の方法はないのだ。

ハリー・ウェスト氏に感謝する。彼は、少年期の私にこれらの素晴らしい楽器について知識を授けてくれ、そのような知識を得ることを許してくれた。今、30年近く経って振り返ってみてわかった。14歳の少年があのような機会を得ることはないのだ。だから、ハリーに心から感謝している。

この最初の経験が、今あなたが手にしている本へと私を導いてくれた。

どうぞ、オリジナルフラットヘッドの世界を楽しんでください。

ジム・ミルズ